



人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち

広報 **さつま** 2012

4
No.85



駆け抜けるさつま路

ゴールを目指して!

第2回ほたるの里ジョギング大会



- 2 平成24年度施政方針の概要
- 4 平成24年度当初予算
- 6 まちのニュース
- 10 危険廃屋解体撤去補助金のお知らせ
- 11 埋蔵文化財の保護について
- 12 町イメージキャラクター愛称決定
- 13 「吹奏楽の町」さつま町の紹介
- 14 ためになる「お口のお話し」
- 15 保健師だより
- 16 川内川激特 鶴田ダム再開発速報
- 17 まちの園芸作物紹介 新規認定農業者の紹介
- 18 暮らしの情報
- 21 がんばれ認定農業者
- 22 がんばれ！スポーツ少年団
- 23 誕生・おくやみ 1歳で～す
- 24 人・夢 休日在宅医・薬局

■表紙の写真説明

— 駆け抜けろさつま路 —
第2回ほたるの里ジョギング大会



3月4日、さつま町神子地区で「第2回ほたるの里ジョギング大会」が開催されました。
5km、3km、1.2kmの3つのコースが用意されたこの大会で、約300人の選手がそれぞれのペースで走りました。
また、開会式では、先日行われた「地区対抗女子駅伝」と「県下一周駅伝」に出場された本町出身選手の紹介もあり、一緒にレースに出場しました。レース終了後は、地元の婦人部による豚汁も振舞われ、選手は疲れを癒していました。

平成24年3月定例議会

施政方針の概要



さつま町長 日高政勝

平成24年3月定例議会で日高町長は、「平成24年度施政方針」を述べました。
今回はその一部を抜粋しお知らせいたします。
なお、全文は本町ホームページにて紹介しています。

政府は、「日本再生の基本戦略」を閣議決定し、「危機の克服とフロンティアへの挑戦」として東日本大震災の復興を始めとする新成長戦略の実行加速・強化と併せ、新たなフロンティアにむけた取組みなど4項目の基本的な考え方を明らかにしました。
さらに社会保障の機能の強化、安定的財源確保を目指す「社会保障・税の一体改革」など12項目にわたる基本方針が定められました。
また、国の予算においては、「行政刷新・新しい公共等の推進」、「国民の安全・安心の確保」、「地域主権改革・地域活性化の推進」など7項目にわたる政策を着実に推進することとし、前年度を僅かながら下回る予算規模となつていきます。

一方、今日の地方公共団体をとり巻く環境は、人口減少社会の到来や高齢社会の進展、さらに昨年成立した地域主権改革に係る一括法により国の権限や財源を精査しながら、地方への大胆な権限移譲が進められることとなりました。これにより自らの判断に基づき行政運営を行うため、より一層の行政手腕が問われる時代を迎えることとなり、自身のリーダーシップはもとより、全職員が英知を結集し、確固たる意思を持って希望の持てる次代を切り開いてまいります。

本年度は、町長としての任期最後の1年であるとともに、町政のかじ取り役としての使命を締めくくる年となります。ことから、就任以来、町政推進の指針として進めてまいりました3つの姿勢、戦略宣言として掲げました4つの政策の柱につきましても、個々の事業の評価をふまえ、その成果を確かなものにするため志を高くして全力を傾注してまいり所存であります。

合併後の懸案でありました役場庁舎につきましても、これまで基本コンセプトをお示ししながら町民ワークショップ

河川激特事業につきましても、平成24年度で各事業計画区域における工事が全て完了することに伴い、来年早々に災害からの復興と未来への飛躍を願い、国、県や被災地域住民を交えて、「災害復興祭」を執り行いたいと考えています。

また、鶴田ダム再開発事業につきましても、各関係機関と連携を密にしながら工事の促進を図り、安全安心のまちづくりをさらに進めてまいります。

町内の交通対策として取り組んでまいりました公共交通

このように安全で安心な生活環境基盤を整えつつも、一方ではグローバル化の進展による地域間競争がますます激しさを増してきており、わが町の「貴重な地域資源の活用」や「人づくり」をキーワードに、さらなる町の活性化へ向け継続した取組みが必要であると考えています。そこで、昨年度選考いたしましたイメージキャラクター「ロゴマーク」等を活用して、町の強みや魅力を町内外に積極的にアピールする戦略的な情報発信事業に取り組み、本町が「人・物・金・情報」の活発な交流拠点となるよう努力してまいります。

—平成24年度6つの町政推進方策—



①豊かな地域資源を核とした活力ある産業のまち



②思いやりと温かさが育む地域福祉創造のまち



③教育と文化の薫る生涯学習推進のまち



④自然と調和した便利で快適なまち



⑤人々の生活視点から創る環境美化のまち



⑥住民と行政が協働するまち

■具体的な計画（一部抜粋）

「中山間地域等直接支払制度」や「農地・水保全管理支払交付金」への取り組みの支援を強化
鳥獣害対策の強化 「農業者戸別所得補償制度」の活用促進 「薩摩西郷梅生産組合」と連携
地域特産品の6次産業化の推進 JA北さつまと連携したトップセールス
「薩摩のさつま」ブランド確立を推進
お茶の防霜ファン設置等による生産安定対策やリーフ茶の消費拡大の推進
多頭飼育農家の飼料生産基盤や農業用施設等の整備促進 全国和牛能力共進会に向けた「さつま牛」のブランド確立
優良雌牛保留導入、肥育素牛導入助成充実 「さつま町の農業を考えるプロジェクト」の展開
集約的な森林施業の推進や、効率的な林道等路網整備の促進 団体営ため池整備
豊富な竹資源を活かした竹材の生産・活用促進 「さつまだけのこ」生産拡大
プレミアム付商品券の発行 虎居商店街の街路灯の整備 コンベンションタウン推進
「さつま町雇用創造推進協議会」各種研修等の実施による雇用対策 「特得パスポート」の発行
「イメージキャラクター」「ロゴマーク」を活用した観光PR対策 交流人口増対策
合宿の町「さつま町」のPR 企業誘致対策、定住促進対策

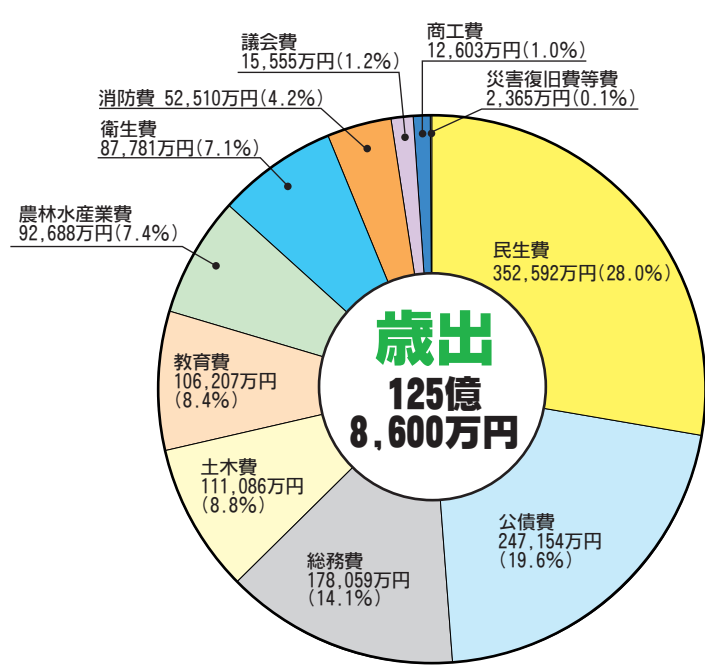
町民総ぐるみの健康づくり推進対策 郡医師会と連携し、肺がんCT検査
「健康づくりポイント事業（特定健診、人間ドック、各種スポーツ大会等）」各ワケチンなど任意予防接種助成
このとりの支援事業（不妊治療助成） 妊婦の歯科無料健診を実施
地域ぐるみによるネットワークづくり（災害時要援護者在登録制度、福祉無線通報システム、公民会「福祉部」の設置の推進など） 障害者用自動車改造費助成事業
すこやか子育て支援手当 多子世帯を含めた保育料の軽減措置 発達障害者療育等支援
第3期障害者福祉計画に基づく各種の福祉サービスの充実 発達障害者療育等支援
「町人権擁護に関する条例」「町人権教育推進計画」に基づく人権教育並びに啓発の促進

「学校応援団活動推進事業」の実施 「こども図書館「えほんの森」」の利用を促進 ブックスタート事業
ふるさと体験塾 「さつまの日」の推進
「たくましく志の高い児童生徒」の育成（基礎学力向上、道徳教育充実、気力・体力向上）
「学校適正化計画」策定 学校給食における地場産物活用
学校耐震化推進 吹奏楽セミナー、優れた楽団の鑑賞の実施 町史編集、民話集 人物伝の編集資料収集

「北薩横断道路」の早期開通と「広瀬道路」から「泊野道路」間の調査区間への早期格上要請 山崎団地建替
「さつま町地域防災計画」の見直し 消防施設資材の整備 自主防災組織の育成・強化
青森県鶴田町・中種子町との大規模災害時応援協定の締結 交通安全対策

家庭用太陽光発電システム設置費用助成創設 ごみ処理のプラントホーム作業民間委託
ごみ減量対策（紙製容器包装、乾電池リサイクル） 不法投棄・悪臭防止対策
危険廃屋解体撤去に係る助成創設

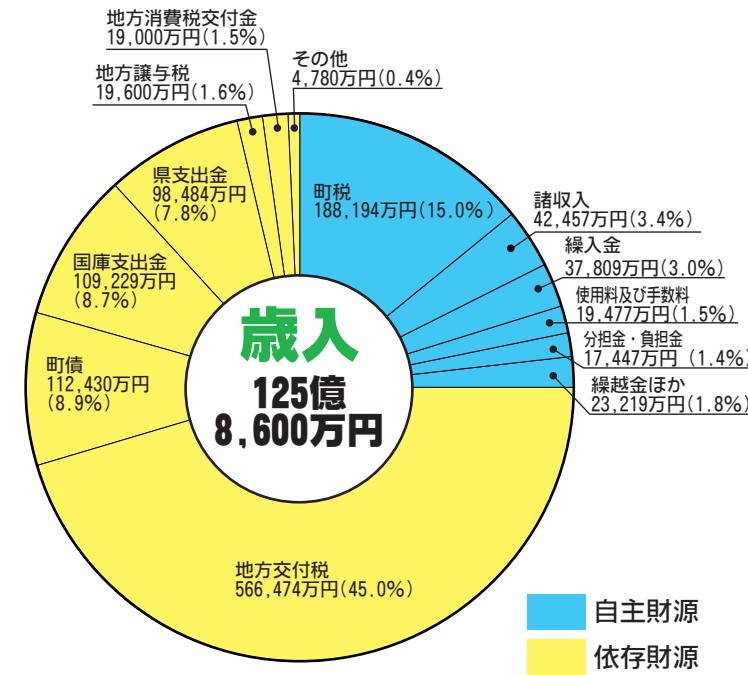
行財政改革推進 公共施設（公園）の一元管理化 行政評価システム構築
共生協働まちづくり推進検討委員会の設置 町外在住者「まちづくりフォーラム」の開催
友好交流自治体との民間交流を主体とした交流の継続 地域公共交通町内全域実証運行



歳出
歳出では、町民の福祉充実のための民生費が35億2,592万円と最も多く、総額の28%を占めています。続いて町の借入金返済のための公債費24億7,154万円、約20%を占めています。町の財政や企画などを行う総務費が17億8,059万円、生活基盤となる

道路整備や公営住宅整備のための土木費が11億1,086万円、学校・社会教育のための教育費が10億6,207万円、農林水産業振興のための農林水産業費が9億2,688万円、健康づくりやごみ収集などのための衛生費が8億7,781万円、以下消防、防災対策のための消防費等が続いています。

歳出



歳入
歳入では、町の人口などに基づいて国から交付される地方交付税が最も多く、総額の45%を占める56億6,474万円となっており、このほか国・県支出金や町債を合わせた依存財源は92

億9,897万円で、予算全体の74%となっています。また、皆さんが納める税金は18億8,194万円で、総額の15%となっており、その他の分担金や使用料・手数料などを合わせた自主財源は32億8,703万円で、予算全体の26%となっています。

自主財源
依存財源

特別会計

国民健康保険事業特別会計	33億7,011万円	農業集落排水事業特別会計	4,300万円
後期高齢者医療特別会計	3億1,408万円	企業会計	
介護保険事業特別会計	29億5,673万円	水道事業会計	1億9,393万円
介護サービス事業特別会計	2,389万円	簡易水道事業会計	4億693万円

一般会計の主な事業

議会費 ・所管事務調査（先進地調査）等旅費 …… 249万円	商工費 NEW 商店街街路灯整備費（虎居町商店街） …… 1,250万円 ・プレミアム商品券発行事業補助 …… 500万円 ・旅館業等施設整備事業補助 …… 400万円 ・観光案内板整備費 …… 250万円
総務費 NEW 庁舎建設に伴う解体及び浄化槽設置費等 …… 6,477万円 NEW 公共交通運営費等（コミュニティバス・乗合タクシー） …… 5,659万円 NEW 危険廃屋解体撤去費補助費 …… 900万円 ・佐志ニュータウン住宅用地販売助成金 …… 400万円	土木費 NEW 道整備交付金道路整備事業費（9路線） …… 5億1,479万円 ・過疎対策道路整備事業費（7路線） …… 1億1,658万円 ・公共施設一括管理整備事業（草払い・剪定等） …… 1,800万円 NEW かくや姫グラウンド改修工事費（排水対策等） …… 4,000万円
民生費 ・保育所運営費 …… 7億4,418万円 ・児童手当（子ども手当） …… 3億8,229万円 ・養護老人ホーム措置費 …… 1億2,115万円 ・社会福祉協議会運営補助費 …… 3,000万円 ・特別保育事業費（休日・延長保育） …… 2,207万円 ・シルバー人材センター運営補助費 …… 890万円	消防費 NEW 耐震性貯水槽設置工事（4カ所） …… 3,000万円 ・消防ポンプ車・小型ポンプ購入 …… 2,240万円 ・消防車庫新築工事（船木分団） …… 1,350万円
衛生費 NEW 予防接種費（予防接種委託・接種補助） …… 6,587万円 ・乳幼児医療助成費 …… 4,279万円 ・がん検診事業費（検診無料クーポン券等） …… 2,359万円 ・妊婦健診・不妊治療・里帰り出産診療費等助成 …… 1,854万円 NEW 太陽光発電システム設置補助（対象70戸） …… 735万円 ・環境保全事業（不法投棄パトロール・看板設置） …… 420万円	教育費 ・子ども図書館運営費 …… 1,410万円 ・埋蔵文化財発掘調査事業（4カ所） …… 1,315万円 ・小学校パソコン借上料・購入費 …… 814万円

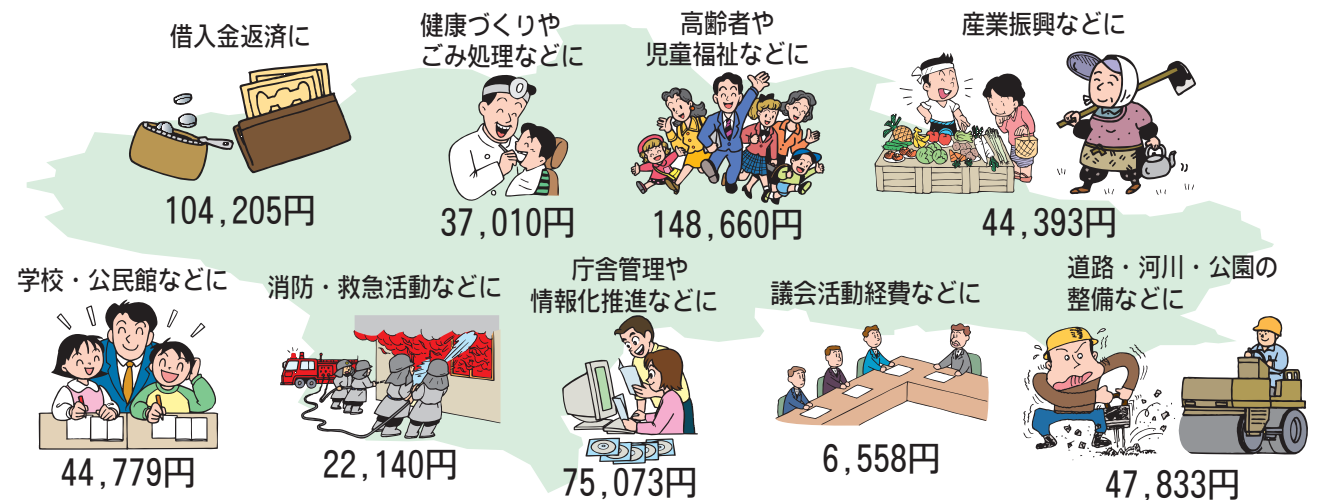


一般会計

町民一人当たりの予算
530,651円

1世帯当たりの予算
1,267,089円

平成24年3月1日現在推計人口
●23,718人
平成24年3月1日現在世帯数
●9,933世帯



なでしこジャパンの 選手も参加

なでしこリーグ 「岡山湯郷Belle」 さつま町キャンプ

3月19日から24日にかけて日本女子サッカーリーグ（なでしこリーグ）に所属する「岡山湯郷Belle」がインターナショナルゴルフリゾート京セラ（IGR京セラ）で初めてのキャンプを行いました。キャンプにあわせて、種田佳織監督と日本代表GKの福元美穂選手（指宿市山川出身、神村学園卒）、日本代表MF宮間あや選手にイチゴ、トマトを激励品として贈りました。種田佳織監督は「さつま町で、しっかりトレーニングを積んで、4月15日の開幕に備えたい。」とあいさつをされました。



激励品を受け取る選手たち

国土交通大臣が来町 激特事業など視察

2月19日、前国土交通大臣、関水管理・国土保全局長（旧河川局長）、中嶋九州地方整備局長が鹿児島県内の直轄（国）事業の進捗状況視察として、川内川激特事業の虎居地区築堤や推込水路及び鶴田ダム再開発事業の視察に來られ、日高町長と久保川内川河川事務所長が案内し説明を行いました。

この中で町長からは、激特事業により景観や文化など町づくりに配慮された整備や梅雨期の洪水低減効果が発現され地域の安全安心が確保されたことへのお礼、及び再開発事業の今後の計画的推進をお願いしました。



虎居築堤から推込水路を視察する前田大臣（中央）



花見を訪れたつるだ同朋保育園児と記念撮影を行う上笠さん

見事な薄紫色に

鶴田区 上笠さん

鶴田地区域内公民会の上笠富雄さん所有のイワツツジ（ハヤトミツバツツジ）が、今年も見事に開花しました。イワツツジは、上笠さんが種から育てて植栽し、約1haの敷地に5000本が植えられています。薄紫色に染まったイワツツジ山には、町内外から多くの見物客が訪れました。今年も、寒さの影響で例年よりも10日ほど開花が遅れましたが、3月19日には、近くのつるだ同朋保育園の園児が訪れお花見を楽しみました。また、3月20日には鶴田区主催のすいせんロードやイワツツジ山をコースとしたウォーキング大会も行われ、参加者は思い思いのペースで楽しみました。



児童から河野武雄町社会福祉協議会長に贈呈されました

プルタブを集めて 求名小児童が 車椅子を寄贈

3月13日、求名小学校児童が、普段からコソコソと集めたプルタブで車椅子を購入し、町社会福祉協議会に寄贈しました。

求名小学校児童が集めたプルタブは、住友生命保険相互会が行う福祉事業で見事な「車椅子」に生まれ変わりました。贈呈式で、西孝一求名小学校校長は、「みなさんがやって来たことが形になって、困っている人の役に立ちます。これからもコソコソ続けてください」と児童をねぎらいました。

消防長表彰を授与

永野 アロン電機(株)

2月10日、永野区に工場がある、アロン電機(株)で消防長表彰の贈呈式が行われました。これは、昨年12月21日に永野吉川で発生した建物火災において、同従業員の方々が連携し迅速的確な通報と初期消火及び関係者の保護に努められたことによる表彰であります。当日は高木消防長より坂元剛社長に感謝状が贈られ、坂元社長は、「従業員の機転により、隣接への延焼がなくてよかったです。」と喜んでおられました。



表彰式後の記念撮影

JICA ボランティア派遣

3月13日、国際協力機構（JICA）から青年海外協力隊としてトンガ王国へボランティア派遣される、本町紫尾出身の弓山大輔さんが町長を敬訪問されました。JICAのボランティア派遣事業は発足以来、アジア、アフリカ等をはじめ各国にボランティアを派遣し、開発途上国の国づくり、人づくりに協力されています。

弓山さんは、専門である森林の分野を活かし、森林の抱える問題や環境問題についてボランティアとして貢献しながら、新たなことを勉強したいと、3月22日に2年間の活動に出発されました。現地での弓山さんの今後の活躍が期待されます。



日高町長を表敬訪問した弓山大輔さん（中央）

「さつまふるさと体験塾」

閉講式

体験活動を通じて子ども達も大きく成長



さらにおいしさが伝わるように盛り付けも工夫します

地元農産物を使ってピザづくり

3月10日、平成23年度の体験塾の最後の活動「ピザ作り・閉講式」が鶴田保健センター調理室で開催されました。参加した塾生39名は、生地から手作りしたピザを美味しくいただきました。ピザの生地やトッピングの材料は、町内産にこだわったものを使用し、参加した子どもたちもふるさと「食」についても意識してもらえ活動になりました。



閉講式終了後の記念撮影

「ふるさと体験塾」では、異年齢の子ども達が集まり、毎月、さつまの日を中心に色々な体験や交流活動を行っています。活動を通じて自主性や積極性、忍耐力など育まれ、子ども達の成長に繋がったと思います。24年度も引き続き、この体験塾を実施し、ふるさとの魅力の再発見や将来のさつま町を担う「さつまっ子」の育成に努めてまいります。

元気です！ さつま町青年団



地元の方に手ほどきをうけながら餅を丸めます・・・

昨年の3月26日に6人で発足したさつま町青年団ですが、この1年間に様々なイベントを行ってきました。平成23年度に行った主な活動を2つほど紹介します。

1つ目は、夏祭りのねぶた運行で、踊り手・囃し方として参加しました。

青森県鶴田町の方々や中高生など町民の方々と一緒にねぶた運行を行い、非常に良い経験と思い出を得ました。

2つ目は、「親子で楽しむ遊び」で、初めて自分たちで計画した事業（正月の遊び体験コマ回し・餅つき等）を行い、多くのご家族に参加していただきました。



多くの参加者で賑わった「親子で楽しむ遊び」

福島英之団長は、「楽しくをモットーに活動しています。設立して一年目ということもあり、多くの苦労もありましたが、団員一人ひとりの頑張りのおかげで、無事1年間活動することができました」と1年を振り返ります。現在、青年団員は12人となりました。「みんなで一緒に活動してみたい」「自分で考えたアイデアを実行してみたい」という方は、さつま町青年団長 福島英之 080-(170)5)6649 または、町教育委員会社会教育課(内線2532)までご連絡ください。また、ブログでもさつま町青年団の活動などを紹介しています。
<http://blog.livedoor.jp/satsumatyou-seinendan/>

町グリーン・ツーリズム研究会
きのこコマ打ち、竹細工・筍掘り
体験を実施

さつま町グリーン・ツーリズム研究会では、森林体験学習の一環として「きのこコマ打ち体験」と「竹細工・筍掘り体験」を実施しました。

2月18日、時吉地区の木の子の楽校で実施した「きのこコマ打ち体験」には、13人が参加し、150本の「ほだ木」にドリルで穴を開け、きのこのコマ打ちを行いました。

当日は、雪が降る寒いで作業でしたが、参加者は、コマ打ちしたほだ木を自家栽培用として、一人2本ずつ喜んで持ち帰りました。



親子で竹細工体験



筍を彫り終えた泊野地区の竹林で記念撮影

また、3月10日には、午前中に県立北薩広域公園で「竹細工体験」、昼食後は泊野地区で「筍掘り体験」があり、34人が参加しました。

参加した子供たちは、普段使い慣れない小刀などを使って保護者と一緒に竹とんぼや竹カッポなどを作りました。

筍掘り体験では、自分で探し、掘った筍にとっても満足した様子でした。

増やせ交流人口
宮崎県からも来町

3月10～11日、宮崎県からの農家民宿研修視察を受け入れました。

今回の受入は、宮崎県川南町地場産業振興会の14人の皆さんで、10日の午前中に佐志地区の農家民宿「山崎農場」に到着し、ピザ作り・そば打ち体験のあと4軒の農家民宿に分かれて宿泊しました。

2日目は、柏原地区の農家民宿と食品加工の製造・販売を行う「Helloさつま」で、かるかんなどの菓子作り体験を行いました。

参加者の一人は、「この研修視察を機会に宮崎県川南町でも農家民宿の数を増やしてグリーン・ツーリズム推進に取り組んでいきたい」と話されました。



Helloさつまで記念撮影

株式会社サトウ
立地協定調印式

2月23日、「株式会社サトウ精工」の工場増設に係る立地協定調印式が行われました。

当社は、日本特殊陶業株式会社宮之城工場の協力工場として、平成元年4月に旧宮之城町の倉内工業団地に設立され、現在、自動車プラグ部品をはじめ、精密機械部品、医療機器部品など幅広い分野で生産を行っています。

今回の工場増設は、ディゼルエンジン用点火プラグ（グロープラグ）をはじめ、精密機械部品の更なる増産体制を確立するために決定されたものです。

操業開始予定は、本年9月であり、新規に12人の雇用を計画されています。



調印後握手を交わす前田北薩地域振興局長 佐藤代表取締役社長、日高町長（左から）

宇宙への
ロマンが広がる
移動宇宙教室



水しぶきを上げて勢よく飛び出すペットボトルロケット

2月23日、紫尾小学校で種子島宇宙センター宇宙科学技術館による「移動宇宙教室」が行われました。

この日は、終野小学校児童も参加し、ロケット打ち上げの映像紹介、宇宙服や宇宙食の観賞が行われた後、ペットボトルのロケット作りに挑戦しました。

完成したロケットは早速校庭で打ち上げられました。

宇宙教室に参加した、紫尾小学校4年生の舟倉朱梨さんは、「ビデオでロケットが飛ぶ所を見たら、宇宙センターに行きたくなりました。今年の春か秋くらいに家族で旅行に行きたいです」と感想を話してくれました。

楽しく学ぶ地産地消③
美味しいパンで
お腹もパンパンだあ！

薩摩学校給食センターでは、3月1日に地産地消・食育の一環として、町内産の小麦を使用したパンを初めて学校給食で提供し、薩摩中学校で生産者の方々と交流給食を実施しました。

昨年「あながわ農組合」などで生産された小麦が、パン用小麦粉として製品化されたことにより、県内では唯一地元産の小麦粉で製造されたパンを学校給食に取り入れることが出来ました。

この日は、組合長の佛淵澄男さんから小麦生産の話聞いた後、「かがうがう！」と「ホントにおいしいねえ」と笑顔のこぼれる交流給食となりました。



中学生と一緒に給食を食べる佛淵澄男組合長



贈られた家紋入り記念品と山下さん

祝 105歳
山下さんへ記念品贈呈

本町では105歳・110歳に到達された長寿者に記念品を贈ることにしています。

2月15日、戸田公民会の山下フチエさんが105歳に到達されましたので、町から家紋入りの記念品が贈られました。

記念品贈呈は、入所されている介護老人保健施設で、お孫さんや職員の方に見守られた中で行われました。

長生きの秘訣を伺うと、「親から丈夫な身体をもらい、自然体で生きてきたこと」と話され、お孫さんは「これからも穏やかに過ごして欲しい」と思いを話されました。

本町では2月15日現在、100歳以上の方が21人いらっしゃいますが、105歳が最高齢となっています。

ニコニコ笑顔でトライ
ちびっコラグビー

2月25日、北薩広域公園多目的広場において「第7回ラグビーinかくや姫グラウンド」が開催され、町内の4小学校から4年生以上の10チームが参加しました。

この日は、大会運営に協力をいただいた日本特殊陶業ラグビー部によるラグビー教室も行われました。

成績と個人の表彰者（最多トライ数）は、次のとおりです。

- 優勝 永野戦隊永野マン（永野小）
- 準優勝 ガンバ盈進（盈進小）
- 第3位 永野スターズ（永野小）
- 男子の部 小田原 海永（永野小6年）15トライ
- 女子の部 上 友香（永野小5年）10トライ



トライできたか？

収穫が楽しみ！
森林・林業体験活動

2月17日、流水小学校で、きのこコマ打ち体験が行われました。

これは、鹿児島県北薩地域振興局が森林・林業体験活動の一環として行ったもので、町内では流水小学校のほかに鶴田小学校、終野小学校、紫尾小学校、佐志小学校、永野小学校の6校で体験活動が行われました。

体験した児童は、慣れない手つきで、ドリルで「ほだ木」に穴を開けたあと一つ一つ「種コマ」を打ち込んでいきました。



指導を受けながら「ほだ木」に穴を開けていきます。

【平成27年3月31日までの期間限定】

町では、町内の景観及び町民の安心安全な住環境の確保を図るため、危険廃屋の解体・撤去に係る経費の一部補助を実施します。

申込時点で解体工事に着手、または、申請手続き中に着手した場合は、対象外となります。

【補助の要件】

- ・ 解体撤去費用が30万円以上になる工事
- ・ 屋根・柱などの主要構造物が朽ちる等により、使用することが不能である建物
- ・ 他の公共事業等の補償対象となっていないこと
- ・ 町内の解体撤去業者を利用すること
- ・ 町税等に滞納がないこと

【補助金額】

- ・ 補助対象経費の3分の1で上限は30万円
- ・ 補助金の申請は1人1回限り
- ・ 補助金は、予算に到達した時点で終了します

【補助対象経費】

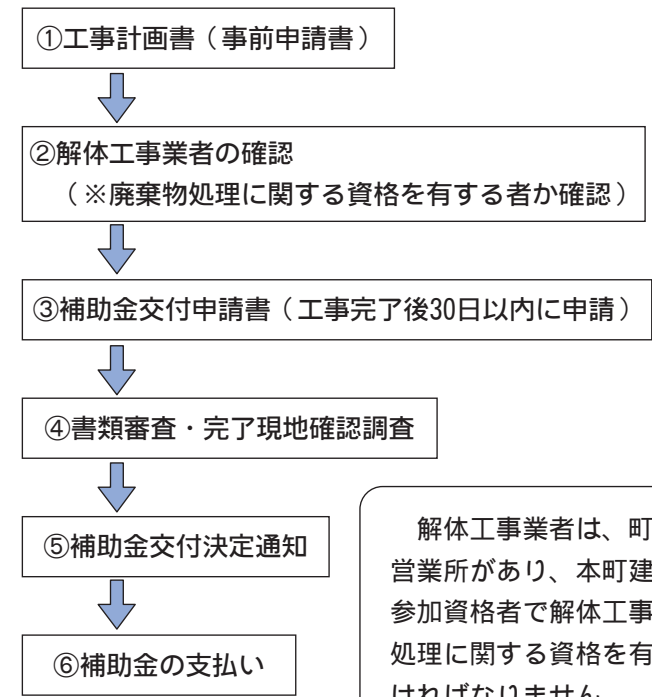
- ・ 住宅、住宅に付随する倉庫及び車庫、店舗併用住宅の解体撤去費用

【補助対象とならない経費】

- ・ 家財道具、機械、地下埋設物等の処分費用

【補助金の交付手続き】

補助金の交付を受けようとする方は、工事着手前に事前審査申請書に係る書類を添えて、役場企画課地域振興係に提出をお願いします。



解体工事業者は、町内に本店や営業所があり、本町建設工事入札参加資格者で解体工事及び廃棄物処理に関する資格を有する者でなければなりません。

◆家屋等を解体撤去した場合には、税務課に家屋滅失の申告が必要となります。なお、家屋等を撤去することによって、固定資産税が増額となる場合がありますので、詳細については、税務課にお尋ねください。

また、法務局に滅失登記の必要がある場合もあります。【住宅があることにより、軽減特例を受けている場合】

住宅の課税は、200㎡までは6分の1に、200㎡を超え住宅の10倍の面積まで3分の1になっていますので、住宅の滅失により、軽減特例はなくなります。この補助金を活用して、解体工事を行う方は、必ず事前に担当係までお問い合わせください。

■お問い合わせ先
さつま町役場 企画課 地域振興係
(内線2223・2226)



守ろう文化財！ 埋蔵文化財の保護

さつま町には、約240箇所の遺跡が存在します。これらの遺跡内や、隣接する場所で土木工事等（一般住宅・店舗・駐車場・宅地造成など）を行う場合は、遺跡が壊される前に発掘調査を行い、遺跡の情報を記録保存する必要があります。町内で、土木工事等を計画する際は、計画地が遺跡の範囲内や隣接する場所ではないか、さつま町教育委員会文化課へお問い合わせください。

■工事計画地が、遺跡内にあったときはどうしたらいいか？

文化財保護法第93条第1項に基づく届出を、さつま町教育委員会文化課へ提出してください。提出書類に基づき、遺跡の性格と工事計画（工事期間、建築工事や埋設物の設置等に伴い掘削する深さ、面積など）から、以下に示す(1)～(3)のいずれかの対応を協議させていただきます。

(1) 発掘調査

① 試掘・確認調査

工事計画地の一部に「トレンチ」と呼ばれる小規模の溝を重機や人力で掘り、どのくらいの深さに遺跡が存在するのかなどを把握するための調査を行います。個人住宅建設においては、浄化槽設置部分の調査がほとんどですが、付帯設備の造成（駐車場の造成や進入口の設置など）により掘削を伴う場合は、その部分を含めて協議させていただきます。調査は、工事の内容と掘削面積にもよりますが、おおよそ1日から2日かけて行います。費用は教育委員会文化課が負担します。

② 本調査

試掘・確認調査により、本調査を行う必要があると判断した場合、日程等を調整し、本調査を行います。個人住宅建設や携帯電話基地局建設等は、試掘・確認調査で終わることがほとんどですが、大型店舗建設や農地改良などの大規模な造成の場合は、試掘・確認調査の結果次第で、本調査に移行することがあります。本調査の経費については、工事発注者と協議し、一部負担をお願いする場合があります。現地での発掘調査が終了次第、工事に着工できます。調査終了後は、報告書を作成して完了です。

(2) 工事立ち会い

遺跡に及ぶ影響が少ないと判断した場合、教育委員会文化課の職員が着工時に立ち会います。

(3) 慎重工事

遺跡に及ぶ影響がほとんどない場合は、工事に着工できます。ただし、工事の際に埋蔵文化財が発見された場合は、教育委員会文化課に報告し、対応を協議してください。その他、不明な点等ございましたら、下記までご連絡ください。

さつま町教育委員会文化課 さつま町船木302番地
(宮之城文化センター内) 電話(53)1732(直通)

四中学校が学びあおう

町中学校 合同学習会

2月29日、宮之城文化センター大ホールで、町内四中学校の一、二年生全員が一堂に会した学習会が行われました。

各校が学習発表を行い学び合いを行った後、鹿児島市鴨池公民館長丸山屋敏先生の「心に残る五人の教え」と題した講演も行われ、「時間の大切さ」、「自分の良さの発見」、「人の影で支えることの大切さ」等について学びました。

お互い刺激を受け、切磋琢磨する良い機会となりました。



鶴田中学校二年一組の合唱

各校の発表内容

- 山崎中学校 (総合的な学習の時間) 学校紹介(二年生) 平和学習(二年生)
- 宮之城中学校(英語) 学校紹介 (Our School) (一年生) 英語暗唱 The Wind and The Sun (二年 逆瀬川朋佳さん)
- 鶴田中学校(音楽) 学校紹介 (生徒会役員) クラス合唱「道」 (二年一組)
- 薩摩中学校(国語) 学校紹介(生徒会長 二年 本村真梨子さん) 作文朗読 「運が良かったんだよ」 (一年 磯部菜さん) 「ここで良かった」 (二年 小永田つくみさん)

さつま町 イメージキャラクター

名前(愛称) 決定!

今度名前を決めてもらった「さつまる」です。これからいろんなところで、さつま町のPRをしていきますので、応援よろしくお願いします!



さつまる
(ちゃん)

さつま町の元気・魅力を象徴し誰からも親しまれる「さつま町イメージキャラクター」の名前(愛称)を1月から募集いたしましたところ、町民さつま町出身者の皆様から105作品の応募がありました。多くの作品の中から厳正な審査を行った結果、「さつまる(ちゃん)」に決定いたしました。

また、さつま町のイメージアップに町民一体となって取り組むため、地域イベントのポスターやチラシなど、今回決定したイメージキャラクター「さつまる(ちゃん)」をはじめ、ロゴマーク、キャッチフレーズの積極的な活用をお願いいたします。

キャラクター等の使用方法については、町ホームページをご覧ください。役場総務課政策推進係へお問合せください。

(政策推進係 内線2216)

「脳のすこやか塾」参加者募集

簡単な読み書き計算の学習で、認知症の予防と、仲間づくりの場となることを目的とした教室です。週1回30分程度学習サポーターの助言を受けながら学習していきます。

また、教室がない日も無理のない範囲で、毎日学習が継続できるようサポートしていきます。

【対象者】概ね65歳以上の元気な方
(介護認定を受けていない方)

【募集人員】各会場10名、20名 定員を超えた場合は抽選

【教室日】平成24年6月、11月

【開催場所】求名交流館 毎週火曜日
鶴田中央公民館 毎週火曜日
屋地楽習館 毎週木曜日
永野交流館 毎週木曜日

【教材費】1か月 約2,300円
参加者を考慮して会場の変更は可能です。

【申込方法】5月11日までに電話でお申し込みください。

「脳のすこやか塾」学習サポーター募集

教室で高齢者と交流しながら、助言や指導にあたるボランティアスタッフのことです。

【対象者】概ね60歳までの方で高齢者の健康増進及び介護予防に理解のある方。

また、事前研修(1回)に参加可能な方。

【活動内容】学習者との交流や助言・指導
(サポーター1人に学習者2人程度)

【申込方法】5月2日までに電話でお申し込みください。

参加者の声

- 生活リズムの一つになったことがうれしい。
- 忘れたことを思い出せるようになった気がします。
- 読みの教材の中に昔話や童話があるので自分が小学校だったとき、学芸会の劇に出演したことを思い出し懐かしい思い出に浸れる。
- 1週間がくるのが待ち遠しい。

現在、自主講座開催中!見学大歓迎!!

- ・鶴田中央公民館(火)…9時30分~
- ・求名交流館(火)……9時30分~
- ・永野交流館(木)……13時30分~

■お問い合わせ・お申し込み先
介護保険課介護予防係
(さつま町地域包括支援センター)
電話(52)4690(直通)
役場(内線2171)

VIVA!

「吹奏楽の町」さつま町

「吹奏楽の町」とは?

昭和14年に盈進尋常小学校職員によるブラスバンド創設をきっかけに、県内最初のスクールバンドが創設され、その後、盈進国民学校、宮之城中学校と引き継がれ、山崎中学校にも吹奏楽部が創設されました。昭和31年から33年には、宮之城中学校吹奏楽部が、全国2位、5位、6位という輝かしい成績を残し、宮之城高校(現薩摩中央高校)、盈進小学校にも吹奏楽部が誕生しました。

今日までに、各団体とも県内トップクラスを保持し、数々の九州大会出場等の実績を残し、県内外に「吹奏楽の町」として名を馳せてきました。

このように吹奏楽の歴史も長く、小・中・高校・一般にまで吹奏楽部(楽団)があることから、「吹奏楽の町」としての様々な活動を行っています。



幅広い世代が参加して行われるお月見コンサート

「吹奏楽の町さつま」を牽引する

●宮之城吹奏楽団

宮之城吹奏楽団は、今年で創立27年の県内有数の吹奏楽団です。

創立は、山崎中、宮之城中学校に在任中、九州大会に10回出場するという優れた成績を残された、故・手塚一郎先生の教職退職を機に、当時の宮之城中・宮之城高校吹奏楽部の卒業生と、友人・知人を集めて結成されたのが最初で、手塚先生自らも3年間指揮者を努められ、現在の吹奏楽団の礎をつくられました。

その後、現在の指揮者である幸喜隆先生のもと、平成7年度に九州大会に初出場し、

平成11年度から3年連続で九州代表として全国吹奏楽コンクールに出場、平成21年度には8年ぶり4回目の全国吹奏楽コンクール出場も果たしました。昨年も鹿児島県代表として九州大会に出場。全国大会への切符を虎視眈々と狙いつつ、練習を重ね、現在に至っています。

それだけ、「宮之城」という土地で育った「吹奏楽」に対して愛着があるからだと思います。だからこそ、地元さつま町に残っているOBやOGの方、吹奏楽に興味のある方、ぜひ練習を覗いてみて、体験してください。

現在、演奏依頼が年5・6回程度あり、お月見コンサートや吹奏楽フェスタの出演はもろろのこと、この時期は毎年鹿児島市で開催する定期演奏会に向けて日々練習しています。

最後に、「宮之城吹奏楽団」のみんで奏でる演奏会を、ぜひ一度聴いて・見て・楽しんでください!

■第25回定期演奏会

日時 平成24年4月30日
(振替休日・月)

午後1時30分開演
午後2時開演

場所 鹿児島市民文化ホール(第一)

お問い合わせ先
楽団事務局メール
neicyan@space.ocn.ne.jp

携帯090(8289)
1889事務局知識まで

介護支援ボランティア事業が始まりました



介護支援ボランティア研修会の様子

この事業は、元気な高齢者の皆さんが町内の介護保健施設などでボランティア活動を行い、その実績に応じて付与されるポイント数に対して年間最大6,000円の交付金を受け取る事ができるものです。

高齢者の皆さんが地域貢献や社会参加をすることで、ご自身の健康維持と介護予防につなげることを目的としています。

3月10日に開催された研修会には約60名の参加がありました。

詳しくは、介護保険課介護予防係へお問い合わせください。

ためになる「お口のお話し」

「寝たきり予防の切り札・口腔ケア術」の題目でNHK「ためになる」にて放送。
 口の機能は体力と同様、年齢とともに自然に低下していき、弱り始めても普段気づかないことが多いのです。早めに対策を講じて「おいしく食べて」「楽しく語る」生き生きとした生活を手に入れましょう。
 次からの質問に答えてみましょう。
 (ここ2、3年のことについてお答えください)

回答例 A：よくある B：ときどき C：なし

質問事項	回答
1 物が飲みこみにくいと感じることがありますか？	A・B・C
2 食事中にむせることがありますか？	A・B・C
3 お茶を飲むときにむせることがありますか？	A・B・C
4 のどに食べ物が残る感じがすることがありますか？	A・B・C
5 食べるのが遅くなりましたか？	A・B・C
6 硬いものが食べにくくなりましたか？	A・B・C
7 口から食べ物が出ることがありますか？	A・B・C
8 食事中、食後のすぐあと、声がかすれてきませんか？	A・B・C
9 家族や友人に何回も聞きなおし、されないですか？	A・B・C
10 夜、咳で目が覚めたり寝れないときがありますか？	A・B・C
11 夜、のどが渇いて目が覚めますか？	A・B・C

参) 嚥下障害ポケットマニュアル 医歯薬出版

以上の項目で【A】に該当する方は口の機能が弱っている可能性があります。
 【B】の方は要注意です。

下記のような症状をほっておくと口の機能が弱ってきます。それが栄養状態を低下させ肺炎を起こしやすくなり寝たきりを招きます。調べてみましょう。

1 歯について

1 欠けてとんがって舌やどてに痛みや傷はありますか？	はい・いいえ
2 「つっさ・歯の根っこ」だけで食べていますか？	はい・いいえ
3 ぐらぐらして噛みにくい歯がありますか？	はい・いいえ

*早めに治療すれば早く良くなりますよ

2 入れ歯について

1 入れ歯が痛い、ゆるい、汚いなど我慢して利用している	はい・いいえ
2 入れ歯にひびが入っている、こわれていますか？	はい・いいえ
3 噛めないからはずして歯無しで食べていませんか？	はい・いいえ

*たいてい修理できますよ！

*好きなもの、おいしいものを食べてみんなと楽しく過ごしましょう。
 *ご自分のことだけでなく、近所に気になる方は居られませんか。
 さらに、寝たきり、寝たきりに近い方で食事に困っておられる方はいませんか？
 歯科医院へ行けない方には訪問歯科診療というものがありますので色々な制度を利用していつまでも食べる楽しみを維持していきましょう。
 気になる方は、歯科医院、地域包括支援センター(52)4690、健康推進委員、民生委員等へご連絡を。
 文責：尾形文隆

こんにちは保健師です 健康さつま21 年1回がん検診を受けましょう

さつま町の3人に1人が「がん」で亡くなっています

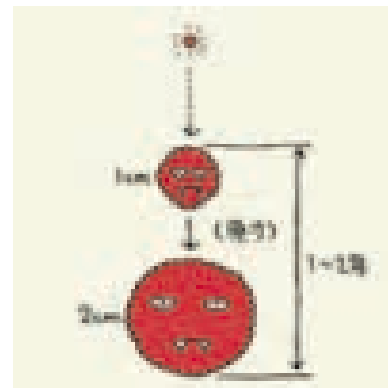
日本人の死因の第1位はがんです。年間30万人を超える人ががんにより命を落としています。さつま町でも、全国同様3人に1人の方が、がんで亡くなっています。

早期にがんを発見できる時間は限られています

早期がんは、大きさだけで言えば、約2cmまでが目安になります。しかし、1cm以下のがんは検査をしても見つけることが難しいのが現状です。

この1cmから2cmのうちにがんを見つけることが大切です。がんが1cmの大きさになるまでには、がん細胞ができてから約15年かかりますが、1cmから2cmの大きさになるには、たった1年半の期間しかありません。

1～2年ごとに検診を受けなければ、がんを早期に発見できない計算になります。



症状がないうちから定期的ながん検診を受けましょう

がんを予防する生活習慣を心がけても、がんを完全に防ぐことはできません。しかし、早い段階で、がんを発見できれば治る確率がかなり高くなります。「症状がないから検診は受けない」「症状がでたら病院に行くから大丈夫」というのは大きな間違いです。症状がないうちから定期的に検診を受け続けることが、がんの早期発見・早期治療、大切な命を守ることに繋がります。

精密検査は必ず受けましょう

検診は受診すれば終わりではありません。「詳しい検査が必要」となれた方は、病気の有無を確認し、必要な場合は適切な治療を受けることが、健康寿命の延伸につながります。

平成24年度のがん検診の申込みをされた方には、検診前に、受診票をお届けします。申込みを忘れた方は、健康増進係にお問い合わせください。

お問い合わせ先：健康増進課 健康増進係
 (内線2143・2144)



■**盈進小学校 宮之城交通安全少年団**
 宮之城交通安全少年団(盈進小5・6年生)は、県下で最も早く結成され、毎月20日の「交通安全の日」の立哨活動や交通安全運動、交通安全行事などで、結成以来継続的に学校や地域で交通安全を呼びかける、長年の活動が評価されました。

鹿児島県教育委員会では、教育や文化、スポーツ活動などの各分野で顕著な成績を収め、県教育の一層の振興・充実に貢献した個人・団体を「いきいき教育活動表彰」として、その功績を称えています。
 この度、本町から盈進小学校の宮之城交通安全少年団と佐志小学校の東翔矢さんが表彰されました。

いきいき教育活動で表彰



■**佐志小学校 東翔矢さん**

「平成22年度土砂災害防止に関する絵画・作品コンクール」で、大雨のため自宅の崖が崩壊したときの周りの方々の励ましや工事が進む様子を、防災のために日頃から気をつけておこなうてはいけなさとなどを表現し、国土交通省事務次官賞(優秀賞)と県知事賞(最優秀賞)を受賞しましたが、その作品が高く評価されました。

3月子牛せり市結果 期日：3月9日(金)～10日(土) (消費税抜き、売却分)(単位：頭・円・kg)

性別	頭数	総売上高	最高価格	平均価格	平均体重	前回比(対2月分)
めす	307	151,265,000	1,121,000	492,720	282	26,202円安値
去勢	407	180,849,000	659,000	444,346	300	10,269円安値
合計	714	332,114,000	1,121,000	465,146	292	20,409円安値



川内川激特・鶴田ダム再開発速報

【北薩地域振興局関連工事】

(平成24年3月5日現在)

- 山崎地区
 - ・護岸、築堤工事(3件)
 - ・山崎橋工事(5件)
- 虎居、宮之城屋地地区
 - ・宮都大橋工事(3件)
 - ・宮之城橋工事(2件)

【国土交通省関連工事】

(平成24年3月5日現在)

- 激特事業関連工事 計4件
 - 荒瀬地区 ・築堤護岸工事
 - 虎居地区 ・護岸工事
 - 柏原地区 ・築堤護岸工事 2件

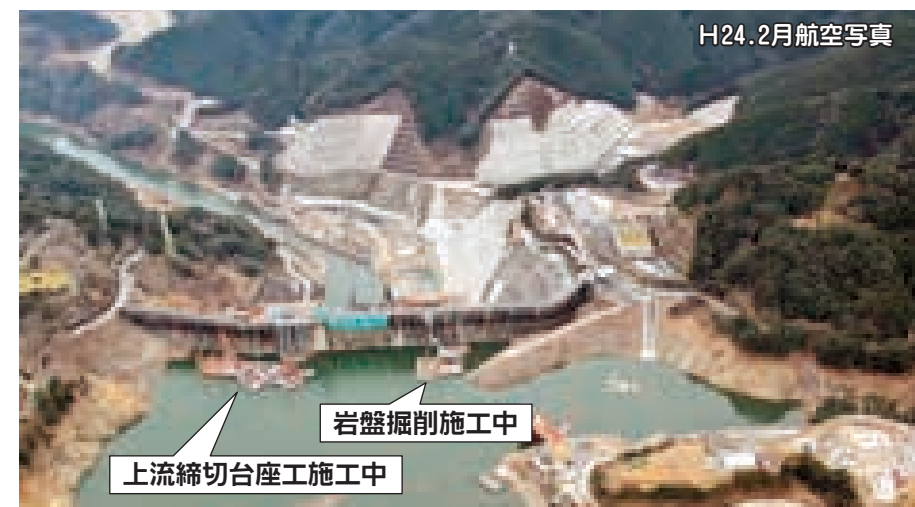
鶴田ダム再開発事業関連工事 計5件

- 神子地区
 - ・施設改造工事
 - ・上流仮締切工事
 - ・工事用道路関連工事
 - ・護岸工事
- 鶴田地区
 - ・工事用道路関連工事



《今月の現場写真》 ～ 鶴田ダム再開発事業 ～

場所：ダム貯水池
 鶴田ダム貯水池では、潜水作業により堤体上流側に設置する仮締切用の台座工施工（土台を造る工事）を行っています。
 また、堤体下流右岸側では、引き続き増設減勢工（放流水の勢いを弱める施設）の基礎掘削及びコンクリート打設を行っています。
 川内川河川事務所のHPでも、再開発事業の進捗状況を掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。
 【お知らせ】 現在、鶴田ダム堤頂の通行止めを行っており今後も続く予定です。通行止めの情報は下記のURL（鶴田ダム管理所HP）からも確認できます。http://www.qsr.mlit.go.jp/turuta/g1_damaccess/index.html



■お問い合わせ先■

国土交通省川内川河川事務所 (0996)22-3271
 激特事業に関すること 工務課
 鶴田ダム再開発事業工事に関すること 工事課
 激特事業工事に関すること 宮之城出張所 (0996)53-1756

鹿児島県北薩地域振興局 建設部
 土木建築課 道路建設第2係 (0996)23-5289

さつまの
ポテンシャルを
引き出せ!

マンゴー

品種や特徴

マンゴーは、インド又はマレー半島が原産のウルシ科の作物で、生育適温は24〜30といわれています。

鹿児島県は、栽培面積、生産量共に全国第3位の産地で、ブランド産地の曽於地区、日置地区、さつま町を中心に栽培されています。本町では、他産地に比べ秋口の冷え込みが早く花の咲くのが早いいため、早期出荷が可能なことから、ハウスミカンの転換作物として平成12年に栽培が始まりました。

その後、面積拡大が図られ現在7戸で約1haが栽培されています。品種は「アーウィン」で、1つ1つネットで保護し完熟して自然落下したものを収穫するなど手間をかけて栽培しており、高級果実として東京や鹿児島の市場へ出荷されます。

安心安全へのこだわり
おごころの秘密
 北さつま農協マンゴー部会（祝迫直人会長 会員6戸）では、消費者の安心と信頼を確保するため、県が定める基準に沿



色づいた完熟マンゴー

■お問い合わせ先
 農政課 農産園芸係
 (内線2424)

大切な人への特別な贈り物へ
 マンゴーの出来る時期で一番のイベントに母の日があり、今年も、5月13日です。母の日は、日頃、お世話になっている感謝の気持ちを込めて、町内産マンゴー「夏姫」を是非、贈ってください。

つて、生産・記録・点検・改善していく取り組みである「かごしまの農林水産物認証」制度を取得し、安心安全で環境に優しい栽培に努めています。また、今年から「かごしまブランド」の産地指定をされたことにより指定された産地内からのみ出荷されるマンゴーの中で、条件を満たす厳選マンゴー「夏姫」がさつま町からも出荷されます。

新規認定農業者の紹介

(平成24年3月14日認定)

3月14日、役場町長室において、2名の方が認定農業者に認定され、農業経営改善計画認定書の交付が行なわれました。
 本町の認定農業者数は、3月14日現在で個人経営体195、組織経営体32、合計227経営体です。
 認定農業者に対しては、関係機関が各種支援策を集中的・重点的に実施します。



氏名 (有)宮脇製茶工場 代表取締役 宮脇一郎 (56歳)

居住地区 船木

経営作目 茶

意気込み 目標達成に向けて一生懸命頑張ります



軸屋文章 (54歳)

居住地区 柏原

経営作目 生産牛 + 水稻

意気込み 優良雌牛の生産に努めて、安定した経営を目指します

合格おめでとう! 松崎鉄史君(宮中)

超難関 国立高等工科大学
 鹿鹿で2名合格 将来自衛隊の幹部へ

生徒募集 小・中学生
 個別指導の徹底・経験豊かな指導者

盈進義塾

さつま町宮之城屋地1538 電話(52)3919

空き家 買取り・管理致します

不動産のご相談は
 信義・安全の当方へ

全国宅地建物取引業保証協会員
 外国人法的保護情報指導者

宮之城不動産

さつま町宮之城屋地1539-8
 電話(53)3346
 携帯電話 090(9794)8620

■広告掲載料 ~広告を掲載しませんか? 広告主大募集!~
 ・広報さつま 1枠 1万円(縦6.0cm×横8.5cm)
 ・町公用封筒(定型封筒長型3号) 1枠 3万円(縦10.0cm×横8.5cm)
 ■詳しくは町ホームページをご覧ください。http://www.satsuma-net.jp/

町民課 町民係
内線2125

● **年金相談**
(事前に予約が必要です)
年金加入記録や受給手続きなどについての『移動年金相談所』を開設します。年金相談は、予約制です。年金の請求手続き及び質問や相談などがありましたら、4月18日(水)までに相談者氏名(旧姓)・配偶者氏名(旧姓)・基礎年金番号・相談内容等を役場本庁町民課町民係まで申し込みください。
必ず相談時間をご確認(ご予約)ください。予約した10分前にはご来場ください。
相談をされる方は、関係書類(年金手帳・年金証書・印鑑等)をお持ちください。
年金請求の方は、必要書類を事前に川内年金事務所にご確認ください。
本人確認書類(免許証等)をお持ちください。なお、代理の場合は委任状と委任を受けた方が確認できる書類(免許証等)が必要です。

○ **相談日時**
平成24年4月26日(木)
午前9時40分から午後3時40分まで

○ **相談会場**

● **国民年金の手続きをお忘れなく!**
会社を退職されたときは国民年金の届出が必要です。20歳以上60歳未満の方は、国民年金への加入が法律で義務付けられています。会社を退職されたときは厚生年金から国民年金(第1号被保険者)への変更の届出が必要となります。また、厚生年金に加入していた方に扶養されている配偶者(第3号被保険者)の方も、第1号被保険者への変更の届出が必要です。年金手帳、退職が確認できる書類、印鑑をお持ちのうえ、役場町民係または川内年金事務所へ「国民年金被保険者種別変更届」を提出してください。
なお、平成24年度の国民年金の保険料(定額)は、月額14,980円です。

● **学生の皆様へ**
20歳以上の学生の方は、学生納付特例の申請ができます。この申請が承認されると、平成24年度の国民年金保険料の納付が猶予されます。

パスポートの申請は役場町民課へ

パスポートの申請・受領の窓口は役場町民課(本庁)になります。町内の方は、県のパスポート窓口を原則利用できませんので、ご注意ください。
お問い合わせ先
町民課 町民係

さつま町よかところファイル No.6



柘野「田の神さあ」

柘野区には3つの田の神(田の神さあ)があります。「田の神さあ」は1700年頃に誕生したものであり、農業の指導者としての神職や僧侶に感謝し、同時に増産、満腹、楽しみといった自分たちの祈りを表現している神様です。

柘野区でも稲作を行っている農家が多く、「田の神さあ」に見守られながら毎年たくさんのお米が収穫されています。

また、毎年9月23日の秋分の日には「柘野ひがな祭り」が開催され、田の神さあをはじめ、金明竹、仏飯講などあらゆる史跡のガイドを柘野小学校の児童が行っています。

柘野にお越しの際は是非3つの「田の神さあ」を探してみてください。



福祉課 福祉障害係
別府 政志
障害者福祉事務に関する担当をしています。

あなたの家は安全ですか?

木造住宅の耐震診断・耐震改修工事補助金のご案内

木造住宅の耐震診断・耐震改修工事の補助金制度を創設しました。(昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅に対する補助制度です。)
さつま町では、「さつま町建築物耐震改修促進計画(平成21年4月)」を策定し、また「地震防災マップ(平成22年4月)」を作成して全世帯に配布・啓発をおこない、住宅等の耐震化の向上を目標に安全で安心して住めるまちづくりを進めています。
地震による木造住宅の倒壊等の被害を防ぎ、安全な建築物の整備を促進するために耐震診断及び耐震改修工事の費用に対し、予算の範囲内において補助金を交付します。

【募集】平成24年度分
・耐震診断 募集棟数・・・3棟
・耐震改修 募集棟数・・・1棟
募集棟数に達した時点で締め切ります。
概に耐震診断を終えている場合は対象外となります。
リフォームを一緒に行う場合は、耐震改修工事部分のみの補助となります。
なお、耐震改修工事費は工事の内容、規模などによって異なります。

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度が始まります」

平成24年7月から「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が始まります。この制度は、太陽光の余剰電力に限定している現行の制度を他の再生可能エネルギー(風力・中小規模の水力・地熱・バイオマスなど)にも広げ、再生可能エネルギーの電気を電力会社が高く買い取るにより普及を目指すものです。
固定価格買取制度では、住宅用の太陽光発電については、今までと同様に使われずに残った電気を買い取られることとなります。
事業所用の太陽光発電及びその他の再生可能エネルギーについては、発電した電気全てを買い取られることとなります。買取りの金額や期間は、毎年度見直されます。
固定価格買取制度を通じて「賦課金」という形で電気料金の一部として位置づけられ、電気を使用される方全員に負担が生じることとなります。
賦課金は、家庭等で使用された電力量(kwh)に国が定めた全国一律の単価を掛けたものになります。
再生可能エネルギーの固定価格買取制度開始に伴い、ご負担が生じますが、ご理解とご協力をお願いします。

みんなで育てる 再生可能エネルギー

お問い合わせ先
経済産業省 資源エネルギー庁
再生可能エネルギー推進室
電話(03)3501-2342

山紫水明の里 さつま温泉

温泉車には清流「さつま川」が流れ、遊歩道で散策を楽しむことができます。

山紫水明の里 さつま温泉
山紫水明の里 さつま温泉
山紫水明の里 さつま温泉

山紫水明の里 さつま温泉
山紫水明の里 さつま温泉
山紫水明の里 さつま温泉

山紫水明の里 さつま温泉
山紫水明の里 さつま温泉
山紫水明の里 さつま温泉

パソコンを触ったことがない方でもOK!

生徒募集

わくわくパソコンくらぶ

シニア向け 親子向け 資格取得コース

インターネット相談・パソコン修理・ホームページ作成
入力代行もいたします。お気軽にお問い合わせください。

宮之城屋地1505-3 株式会社 エス・デー・ラボ
☎ 29-3900

ちくりんスタンプ会イベント情報

スタンプを貼り終えた台紙に、貼ってご利用ください。このシールを貼ってある台紙はスタンプシールをプラス10枚差し上げます。

新幹線 出水⇨博多 台紙18冊と交換
新幹線 川内⇨鹿児島 台紙5冊と交換
タクシーチケット(1,500円) 台紙2冊と交換
ゴミ袋(2袋) 台紙1冊と交換

スタンプシールプラス 10枚
有効期限 平成24年4月30日

詳細は、ちくりんスタンプ会まで ☎ 53-1141(町商工会内)

薩摩郡医師会病院診療案内 (H23.12.16~)

診療科	月	火	水	木	金	土
内科	神野	神野		神野	神野	
神経内科		花田	花田		花田	
救急科	益崎	益崎	益崎	益崎		交代制
循環器内科			福岡	堀之内(第2・4)	早川	
消化器内科				倉元	倉元	倉元
外科	緒方	緒方	緒方		緒方	大学
整形外科	海江田	海江田	海江田	海江田	吉松	吉松(原則第2・4)
放射線科	林田	林田		林田	平木	

*50歳以上の方は、低線量CT肺がん検診が、3,150円で受診できます!
担当: 外川内 (TEL0996-53-0326)

がんばれ 認定農業者!! シリーズ⑦

さつま町船木

まつぎき てるお
松崎 照夫さん 56歳



松崎照夫さんは、平成8年3月に認定農業者として認定されました。

20歳の頃から就農され、現在、奥さんと二人でお茶5.2haを経営されています。

農業は「忙しさが時期によって違うので、重なる時期は労働力の配分に苦慮しているが、反面自分の思うように経営できる」と魅力を話されます。

仕事の合間には趣味の魚釣りにも出かけられます。

「認定農業者の研修会などは情報を得ることができるのでためになっています、今後はお茶の適採作業の省力化を図っていきたい」と抱負を話してくださいました。

町長交際費執行状況 (2月分)

- 2月3日 4,787円
中津川区公民館役員との意見交換会時
- 2月4日 5,000円
村づくり全国表彰受賞祝賀会時
- 2月19日 6,025円
国土交通大臣ほか河川激特事業現場視察時
- 2月19日 8,155円
町民大会講師御礼(地元産品)
- 2月23日 65,565円
県かごしま遊楽館との意見交換及び町PR時地元農産物ほか
- 2月29日 4,494円
県下一周駅伝競走大会川薩チーム解散式時



町長の動静 (平成24年2月)

※主な会議及び行事を抜粋 (各課・局との内部会議は省略)

2月1日 (水) 朝会 川薩地区税務協議会総会(薩摩川内市)	2月3日 (金) 平成24年度予算復活要求町長査定 中津川区公民館役員との新春放談会	2月4日 (土) 村づくり表彰受賞祝賀会(久富木区公民館)	2月6日 (月) トップセールス(大阪市場)京都市場役員との意見交換会	2月7日 (火) 大阪中央青果市場朝せりトップセールス(大阪市) B&G全国サミット(東京都) 企業訪問活動(神奈川県)	2月8日 (水) 企業訪問活動(東京都・栃木県) 関東さつま交流会	2月9日 (木) 東武百貨店開店50周年記念大鹿児島展 (さつま観光・特産品トップセールス 東京都)	2月10日 (金) 2市1町(日置市・曾於市・さつま町)ものづくり企業交流会	2月11日 (土) 二渡ホテル舟総会	2月12日 (日) 永野ウォーキング大会	2月13日 (月) 3役調整会議 町土地改良区役員との意見交換会	2月14日 (火) 地域高規格道路「薩摩道路」通り初め式及び開通式典 町水道運営委員会 立地企業社長との面談	2月15日 (水) 鹿児島市町村職員共済組合全議員協議会(鹿児島市)	2月16日 (木) 会計実地検査対応 鹿児島町村会定期総会ほか(鹿児島市)	2月17日 (金) 北薩地域土地改良連合会連絡協議会 薩摩中央高校を育てる会 茶生産協会総会	2月19日 (日) 町民大会 国土交通大臣河川激特事業現場視察対応	2月20日 (月) 町国民健康保険運営協議会	2月21日 (火) 町土地開発公社理事会	2月22日 (水) 臨時議会	2月23日 (木) 立地協定調印式(サトウ精工) 入札	2月24日 (金) 市町職員共済組合連合会総会(東京都)	2月26日 (日) 春季火災予防運動訓練式	2月27日 (月) 地域審議会(薩摩地区)	2月28日 (火) 鹿児島市町村職員共済組合厚生会理事会・組合会ほか(鹿児島市)	2月29日 (水) 地域審議会(鶴田地区) 地域審議会(宮之城地区) 県下一周駅伝競走大会解散式(薩摩川内市)
--------------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------------	--	-----------------------------------	--	--	--------------------	----------------------	----------------------------------	--	------------------------------------	---------------------------------------	--	-----------------------------------	------------------------	----------------------	----------------	-----------------------------	------------------------------	-----------------------	-----------------------	--	---

健康づくり

日高政勝

近年、生活水準が向上するとともに医学・医療も進歩し、人生80年代といわれる長寿社会になりました。その一方で、生活習慣の欧米化や機械化による運動不足により、がん、心臓病、脳疾患などの「生活習慣病」が増加しています。

町では、町民一人ひとりが健康で楽しくいきいきと暮らすことができることを願って「健康づくり推進の町」宣言を行いました。

寝たきりや認知症にならないで長生きする、つまり健康寿命をいかに延長できるか、そのためには「栄養、運動、休養」三本柱とともに定期健診の予防対策が必要です。今や健康志向はいやが上にも高まり、ウォーキングやグラウンドゴルフなど様々な実践される方がとても多くなりました。楽しく続けていくことが健康づくりの秘訣だと思います。

新年度から、特定健診、人間ドック、各種スポーツなど健康づくりにつながる取り組みにポイントを付し、抽選による褒章を行って、受診率向上と自主的活動を促進し、生涯を通じて健康づくりに資してまいります。

■ 暮らしの情報

●お問い合わせ: さつま町役場 TEL (53) 1111 FAX (52) 3514

健康増進課 健康増進係

内線2144

●健康診査日程

【4・5月分】

- 乳幼児健診・健康相談
 - 1歳7〜8か月児 (H22・8生) 健診 4月18日(水) 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - 7〜8か月児 (H23・8生) 育児相談 4月20日(金) 午前9時〜午前9時30分 受付(宮之城保健センター)
 - 3歳児 (H21・2生) 健診 4月25日(水) 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - 2歳児健やか健康相談 (H22・4生) 5月10日(木) 午前9時〜午前9時30分 受付(宮之城保健センター)
 - 2歳6か月児 (H21・10生) 健診 5月10日(木) 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - すくすく育児相談 5月11日(金) 午前9時〜午前10時 受付(宮之城保健センター)
 - 4か月児 (H23・12生) 健診 5月9日(水)

母子健康手帳交付

午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)

●楽々健康ウォーク

- 「えほんの森」身長・体重測定 5月18日(金) 午前9時30分〜午前11時 (えほんの森)
- 「屋地楽習館」 5月25日(金) 午前9時30分〜午前11時 (屋地楽習館)
- 「えほんの森」身長・体重測定 5月18日(金) 午前9時30分〜午前11時 (えほんの森)
- 屋地楽習館健康相談 5月1日(火) 5月8日(火) 5月15日(火) 5月22日(火) 5月29日(火) 午前9時30分〜午前11時 (屋地楽習館)
- フツ化物塗布 4月18日(水) 4月25日(水) 5月10日(木) 午後3時〜午後4時 受付(宮之城保健センター)
- 屋地楽習館健康相談 5月1日(火) 5月8日(火) 5月15日(火) 5月22日(火) 5月29日(火) 午前9時30分〜午前11時 (屋地楽習館)
- 「えほんの森」身長・体重測定 5月18日(金) 午前9時30分〜午前11時 (えほんの森)
- 楽々健康ウォーク チューリップ見学コース 4月8日(日) 午前8時 宮之城ひまわり館出発 さわやか春風コース 4月28日(土) 午前8時 秋葉グラウンド出発



福祉課 福祉障害係

内線2135

●心配ごと相談所

- 毎週木曜日 午前10時〜正午 宮之城ひまわり館 お問い合わせ先 町社会福祉協議会 ☎(52) 1123

税務課 資産税係

内線2115

●固定資産課税台帳等縦覧 平成24年度の固定資産税課税台帳などの縦覧を下記のとおり行います。縦覧は無料ですが、課税台帳の写しの交付は有料です。なお、本人の場合は印鑑、代理人の場合は、印鑑と委任状をお持ちください。 期間 平成24年4月2日(月)〜5月31日(木) ただし、土曜、日曜、祝日は除きます。 時間 午前8時30分〜午後5時 場所 本庁税務課資産税係及び各支所税務係

税務課 町民税係

内線2112

●軽自動車税の減免 4月は、軽自動車税の納

福祉課 福祉障害係

内線2134

期月ですが、身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者福祉手帳及び療育手帳のいずれかの交付を受けている方や身障者用構造改造車の所有者は、一定要件を満たす場合に限り、申請によって当該年度の軽自動車税の減免を受けることができます。 減免申請は、納付書と一緒に身障者手帳等・運転免許証・車検証・印鑑を持って、4月24日(火)までに左記へ申請してください。 昨年、減免を受けられた方も申請が必要です。(毎年手続きが必要です) お問い合わせ・申請場所 本庁税務課(町民税係) 鶴田支所(税務係) (内線2112) 薩摩支所(税務係) (内線4214) 薩摩支所(税務係) (内線6115)

税務課 収納第1係

内線2113

●5月の納税など 軽自動車税 【納期限5月1日】

福祉課 福祉障害係

内線2134

●心身障害者扶養共済制度 障害のある方を扶養している保護者が、自らの生存

●2月の火災・救急情報

○火災	発生件数 2件	○救急	出動件数 92件
	内訳 建物 2件		運んだ人 81人
			内訳 急病 48件 43人
			交通事故 10件 8人
			その他 34件 30人



がんばれ！スポーツ少年団

創立19年目の悲しい出来事

盈進女子バレーボールスポーツ少年団は、6年生6人、5年生2人、4年生6人、3年生8人の計22人で活動されています。

去る3月4日、このチームを19年間の永い間一生懸命指導されてきた松永和巳監督が他界されるという悲しい出来事が起こりました。

ON・OFFの区別を！楽しんで・厳しさをモットーに！

後任の代表指導者になった有馬育希さん(20)は、故松永監督と一緒に、コーチとして昨年から子どもたちの指導にあたっていらっしゃいます。

有馬さんは、「人数が多いので一人ひとりがしっかり練習できるように心がけています。ON・OFFの区別をしっかりと楽しんで・厳しさをモットーに、また、バレーを通じて礼儀などをしっかり身に付けられるように留意しています」と指導方針を話されます。



盈進女子バレーボールスポーツ少年団

(記事は平成24年3月現在の内容です)

中学校ではしっかりと「志」を持って頑張りたい！

また、「教えた分だけ成長していく姿を見ることに少年団指導の魅力を感じます。指導して間もないですが、指導方法などこれから勉強して子どもたちと一緒に成長していきたい。まずは地区優勝を目指したい」と抱負を話されました。

盈進女子バレーボールスポーツ少年団のキャプテンで盈進小学校6年の濱田亜美佳さんは「私は4年生から入団しています。キャプテンとして部員22名をまとめるのはとても大変でしたが楽しく活動できました。中学校では、しっかりと『志』を持って頑張りたい」と抱負を話してくれました。



誕生おめでとう

2月16日～3月15日届出分(13人) 敬称略
あかちゃん 義務保護者 公民会

水	下	永	別	堂	堂	谷	東	左	中	若	津	上
流	副	江	府	園	園	山	條	近	間	森	田	牧
心	田	優	蒼	里	伶	力	陽	琉	あ	夕	真	梨
音	碧	都	介	桜	桜	斗	翔	海	い	陽	穂	央
女	男	男	男	女	男	男	男	男	女	男	女	女
泰	元	吉	弘	竜	竜	博	弘	健	あ	佑	進	将
貴	氣	美	教	也	也	一	一	二	ゆ	紀	求	寛
轟	西	城	湯	北	北	湯	虎	一	み	京	名	湯
原	町	之	田	方	方	之	居	ツ	木	塚	町	下
		口	上	町	町	元	大	木		原		

おぐやみ申し上げます

2月16日～3月15日届出分(37人) 敬称略
なくなつた人 年齢 公民会

中	鍋	原	春	中	別	山	永	上	森	岸	森	末	栗	花	米	田	松	岩	原
益	高	高	田	村	府	下	徳	川	山	山	山	吉	野	北	盛	野	ケ	元	田
男	義	義	セ	ナ	ノ	マ	ス	畑	正	正	ヨ	達	忠	貞	ス	野	野	ヨ	田
	タ	タ	ツ	ミ	シ	ツ	ミ	富	文	文	子	三	記	二	ミ	三	全	ネ	益
80	86	81	85	86	89	89	84	62	71	84	96	80	57	63	86	88	95	93	
金	川	尾	西	弓	船	戸	大	須	中	新	二	上	虎	城	東	山	高	上	
山	原	原	町	之	木	子	願	杭	央	岩	渡	川	居	之	崎	嶺	平	川	
	町	原	尾	尾	西	田	寺			元		口	町	口	中	川	川	川	

さつまの日

毎月第3日曜日は「青少年育成の日」
毎月第3日曜日は「家庭の日」

宮	母	有	大	城	白	長	宮	村	鬼	諏	白	吉	久	久	中	松
崎	ケ	村	大	戸	石	福	本	田	塚	訪	石	井	保	留	島	永
フ	野	繁	団	ミ	正	正	勝	義	益	廣	ミ	永	勝	須	重	和
チ	晶	子	ト	チ	治	治	男	弘	男	子	ツ	高	見	恭	志	巳
83	84	80	94	90	85	84	74	29	79	73	82	84	83	77	86	45
上	上	西	船	櫃	尾	荒	城	轟	大	弓	弓	下	北	種	東	
仲	平	湯	木	ヶ	原	瀬	之	原	俣	之	之	平	原	子	町	
町	川	田	東	迫			口			尾	尾	川		田	新	
		原	原											田	町	

鹿児島県パーキングパーミット制度の「協力施設」募集！



身障者用駐車場利用証制度(パーキングパーミット制度)は、県が設定した身障者用駐車場の利用基準に基づき、対象者に利用証を交付し、県と各施設で協定を締結した駐車場において、利用証を車に表示することで、利用が適正であることを示すとともに、真に必要としている人のために駐車スペースの確保を図る制度です。

さつま町内では、平成24年2月29日現在49施設様に、ご協力をいただいています。

当制度の趣旨をご理解の上、ご協力していただける場合は、鹿児島県北薩地域振興局パーキングパーミット制度担当者へ、ご連絡ください。ご協力して頂くための協定書と協力施設一覧表について、ご説明いたします。鹿児島県と協定書を締結後に、協定書の1部(協力施設一覧表を含む)、及び、「案内表示用ステッカー」を送付します。

なお、協定書締結後は鹿児島県ホームページ等へ「協力施設」として紹介いたします。

ご連絡先：鹿児島県 北薩地域振興局 保健福祉環境部
地域保健福祉課 パーキングパーミット制度担当者
電話 0996-23-3166

1歳で～す

毎月1番最初に生まれた赤ちゃん

ありまれな
有馬伶菜ちゃん
平成23年4月2日生



父 正 敏 さん
母 留 美 さん

戸子田 公民会

両親から一言
すくすく
元気に育ってね！

ひとつき ここ

一ツ木煌心ちゃん
平成23年4月2日生



父 史 之 さん
母 理 央 さん

諏訪下 公民会

両親から一言
1歳おめでとう
元気に育ってね！

おりこの みうみ
折小野 未海 さん

山崎小学校 6年



食べた人を幸せな気持ちにしたい!

私の将来の夢は、パティシエになることです。テレビでとてもきれいなスイーツを作っているのを見て、「私もこんなスイーツを作りたい!」と思いました。私はおかし作りが大好きで、家でクッキーやチョコを作りますが、テレビで見るようにきれいに作れません。だから、きれいなおかしを作る人にあこがれます。いつか、食べた人が幸せな気持ちになるようなスイーツを作りたいです。



【ホームページ】 <http://www.satsuma-net.jp>
【メールアドレス】 so-hosei@satsuma-net.jp

休日在宅医

4 月	
8日	薩摩郡医師会病院 ☎53-0326
15日	益寄医院 ☎57-0010
22日	海江田医院 ☎53-0006
29日	てらだ内科クリニック ☎21-3232
30日	小緑内科 ☎52-1676

5 月	
3日	相良医院 ☎53-0160
4日	稲津病院 ☎52-3355
5日	鬼丸整形外科 ☎56-8811
6日	木原医院 ☎52-2700
13日	薩摩郡医師会病院 ☎53-0326

休日薬局

4 月	
8日	青空薬局 ☎52-0101
15日	ぎんざ薬局求名店 ☎31-6500
22日	タバタ薬局 ☎21-3344
29日	さし薬局 ☎21-3610
30日	とどろ薬局 ☎52-2525

5 月	
3日	うさぎ薬局 ☎52-4116
4日	やまだ薬局 ☎52-4585
5日	やまだ薬局 ☎52-4585
6日	みやんじょ薬局 ☎52-4650
13日	青空薬局 ☎52-0101

わたしたちの町

推計人口による
 人口 23,718人 (-13人)
 男 10,993人 (-3人)
 女 12,725人 (-10人)
 世帯数 9,933世帯
 転入 57人 転出 44人
 出生 13人 死亡 39人
 (平成24年3月1日現在)
 ()は前月対比

※休日在宅医や薬局は都合により、変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。